

西の丸御蔵城宝館企画展
「尾張ゆかりの甲冑・刀剣」



出品目録

会期：令和5年6月26日（月）～9月3日（日）

甲冑・刀剣は武士にとって必須の備え武具であると同時に、武家の格式を示す道具です。甲冑は機能性や防御性を重視しつつ、戦場での識別を兼ねて個性的な造形が施された他、刀剣は製作した刀工や工芸品としての優劣に基づき贈答用としても用いられたため、泰平の世でも優れた甲冑・刀剣が製作・伝承されました。尾張徳川家が治めた濃尾の地においても、御三家筆頭の領地に相応しい甲冑・刀剣の優品が伝えられています。本展覧会では、名古屋城コレクションの中で、尾張ゆかりの甲冑・刀剣を中心に、武家の備えの美を紹介します。

展示期間 A：6/29～7/31 B：8/1～9/3 表記無しは通期

	名称	作者・所用者	員数	製作年代	備考・所蔵	展示期間
1	紺系威二枚胴具足	丹羽家伝来	1領	江戸時代	17世紀	
	鉄錆地六十二間筋兜		1頭	室町時代	天文2年(1532)	
2	勝色系威胴丸具足	赤目横井家伝来	1領	江戸時代	17世紀	
	鉄地金箔貼変り兜		1頭	桃山時代	天正4年(1576)	
3	紺系素懸威五枚胴具足	鳥居高次所用	1領	江戸時代	弘化3年(1846)	
	鉄錆地三十二間筋星兜		1頭			
4	梨子地竹に雀紋散蒔絵系巻太刀拵		1口	江戸時代	18世紀	木子コレクション
5	丸に花菱紋・南天車紋蒔絵柄采配	有浦元左衛門所用	1握	江戸時代	18-19世紀	
6	黒漆塗十二間総覆輪筋兜	伝明珍宗安作・石河家伝来	1頭	南北朝時代	14世紀	
7	鉄錆地置手拭形兜	春田辰到作	1頭	江戸時代	18世紀	
8	黒漆塗鉢巻形兜		1頭	江戸時代	18世紀	
9	総面	伝明珍信家作	1頭	江戸時代	18-19世紀	
10	面頬	石河家伝来	1面	江戸時代	18世紀	
11	半頬		1面	江戸時代	19世紀	
12	鎖頭巾		1頭	江戸時代	19世紀	
13	短刀 無銘	伝徳川家康所持	1振	江戸時代	17世紀	加藤千博氏寄贈
	梨子地葵紋蒔絵合口拵	伝尾張徳川家伝来	1口	江戸時代	17世紀	
14	刀 無銘		1振	江戸時代	17世紀	木子コレクション
15	短刀 銘 若狭守氏房 天正三年五月日		1振	室町時代	天正3年(1575)	木子コレクション
16	脇指 銘 相模守藤原政常		1振	江戸時代	17世紀	木子コレクション
17	脇指 銘 伯耆守藤原信高	松平六左衛門所持	1振	桃山時代	16世紀	
	蠟色塗脇指拵		1口	江戸時代	17世紀	
18	太刀 無銘	石河家伝来	1振	室町時代	16世紀	
	白檀塗唐草文太刀拵		1口	江戸時代	19世紀	
19	脇指 銘 来国治		1振	江戸時代	18世紀	木子コレクション
20	短刀 銘 尾張国政秀 青山永隆之好依作之 慶応二年丙寅三月日		1振	江戸時代	慶応2年(1866)	木子コレクション
21	刀 銘 尾州住登竜子晴英作/明治元辰十一月吉日		1振	近代	明治元年(1868)	木子コレクション
22	笹穂槍 銘 大和守源康道	尾張藩士蘿木家伝来	1本	江戸時代	17世紀	
23	兜割		1握	江戸時代	19世紀	
24	十手		1握	江戸時代	19世紀	木子コレクション
25	鎖鎌		1式	江戸時代	19世紀	木子コレクション
26	鉄杖	尾張藩士丹羽氏長所用	1握	江戸時代	18-19世紀	
27	手裏剣	尾張藩士丹羽家伝来	2本	江戸時代	19世紀	
28	知新流手裏剣目録写	尾張藩士丹羽家伝来	1帖	江戸時代	19世紀	
29	丹羽家家宅絵図控	尾張藩士丹羽家伝来	1舗	江戸時代	19世紀	
30	黒漆塗鞠挟に山字紋散蒔絵刀筒		1合	江戸時代	19世紀	木子コレクション
31	青貝螺鈿蒔絵刀筒		1合	江戸時代	19世紀	
32	朱漆塗刀箱		1合	江戸時代	18-19世紀	木子コレクション

33 織田信長画像摸本	中尾鼓山筆	1幅	近代	昭和7年(1932)	愛知・長興寺原藏品
34 豊臣秀吉画像摸本	護城鳳山筆	1幅	近代	昭和7年(1932)	愛知・妙興寺原藏品
35 徳川家康坐像		1躰	江戸時代	18世紀	
36 徳川家康并十六将図		1幅	江戸時代	19世紀	A
37 徳川家康并十六将図		1幅	江戸時代	19世紀	B
参考 金陀美具足(徳川家康着用)模造	丸竹産業作	1領	近代	昭和62年(1987)	静岡・久能山東照宮原藏品
参考 南蛮胴具足(徳川家康着用)模造	丸竹産業作	1領	近代	昭和62年(1987)	栃木・日光東照宮原藏品
38 加藤清正画像摸本	護城鳳山筆	1幅	近代	昭和7年(1932)	京都・勤持院原藏品
39 福島正則画像摸本	中野鼓山筆	1幅	近代	昭和7年(1932)	東京・個人原藏品
40 浅野長政画像摸本	護城鳳山筆	1幅	近代	昭和7年(1932)	東京・個人原藏品
41 関ヶ原合戦絵巻		1巻	江戸時代	天保2年(1831) *	場面替
42 義家朝臣鎧着用次第	伊勢貞丈筆	18面の内	江戸時代	安永9年(1780)	
43 刀鍛冶図絵馬		1面	江戸時代	19世紀	

*は名古屋城振興協会の所蔵。その他の作品は全て名古屋城総合事務所の所蔵です。出品番号は展示順と異なります。

木子(きし)コレクション

名古屋市で飲食店を営んだ木子進發氏が蒐集した刀剣・刀装具コレクションで、刀剣類267点 [太刀3振・刀136振・脇指100振・短刀21振・薙刀2振・長巻1振・槍1本・小刀3振]、拵205点 [太刀拵5口・刀拵65口・脇指拵64口・短刀拵12口・槍拵1口・薙刀拵2口・長巻拵1口・軍刀拵8口・部品等47点]、刀装具362点 [鍔(つば)264枚・鍔(はばき)21点・縁(ふち)及び頭(かしら)16組・縁24点・頭20点・目貫(めぬき)9点・小柄(こづか)3点・筭(こうがい)5点] の他、刀道具等31点の総計865点に及ぶ一大コレクションである。進發氏の歿後、平成5年(1993)に名古屋市(名古屋城)に寄贈された。

刀図解

